



① 林道案内沢線の法面の崩落箇所
 ② 補修工を終えた青刈橋（一戸町境）
 ③ 耐震補強工事で筋かいを設置（小屋瀬小学校）



①



元町橋の架け替え工事の状況を確認する議員ら

現地状況を確認 地域要望の実現へ

ハード事業を集中調査

「輝くふるさと常任委員会」所管事務調査

輝くふるさと常任委員会は6月1日と2日、27年度に完了した事業と28年度に実施する工事箇所などの調査のため、町内を視察しました。

2日目は、県盛岡広域振興局土木部岩手土木センター（矢内泉所長）と「県営工事の情報交換会」を開催。鈴木町長、觸澤副町長も出席し、県の道路整備事業などについて意見を交わしました。

3月の定例会議で町道に認定した「町道江刈農村センター線」の状況を視察。道路幅が狭く舗装されていないため「道路機能を十分に発揮するため、路面舗装などの改良が必要」との意見がありました。

工事実績と進行の状況

本年の調査では、町道茶屋場田子線の改良整備事業、葛巻病院や江刈小学校の改築など、大型のハード事業を中心に調査しました。そのほか、町有林の管理状況などを確認しました。

① 日目は、町中心部と江刈方面を調査。町道茶屋場田子線の整備によって、浦子内地区の大橋の架け替えを計画していると説明を受けました。付近の倉船地区は、以前に土器が発掘された場所で、工事を始める前に現地を確認するよう町に求めました。



町道認定した町道江刈農村センター線（小苗代）

②

日目は、田部、小屋瀬方面を調査。冬部地区の根地戸と土谷川地区の水尻の町有林2カ所の状況を確認。「伐採の適期に達している立木の状態を確認し、今後の活用方法の検討が必要」との意見が出ました。小屋瀬地区の荒谷橋の入り口部分が狭いため、大型車両の通行が不便な状況を確認しました。以前、地区から改良の要望があった箇所のため、改善策を検討するよう町に伝えました。

左の表の通り、事業の内容は、冬部地区の根地戸と土谷川地区の水尻の町有林2カ所の状況を確認。「伐採の適期に達している立木の状態を確認し、今後の活用方法の検討が必要」との意見が出ました。小屋瀬地区の荒谷橋の入り口部分が狭いため、大型車両の通行が不便な状況を確認しました。以前、地区から改良の要望があった箇所のため、改善策を検討するよう町に伝えました。

県の発注工事 本年度計画は

2日目の調査終了後、町長と副町長も出席して、県との情報交換会を開催しました。

冒頭、県の担当者が、今年度を実施する事業内容を説明。本町で計画さ

28年度県事業の内容

(28年5月末現在の計画)

種別	工事の内容	工事年度
道路事業	四日市地区の道路改良工事（L=320m）	25～28年度
	城内小路地区の急カーブ解消の検討	28年度
	茶屋場田子線への助言	28年度
砂防事業	又ナヤ沢（平船）砂防事業（ダム1基）	24～30年度
	市部内の沢砂防事業（ダム2基）	21～30年度
	馬淵の沢砂防事業（ダム1基）	21～28年度

《議会から町へ》

公共施設が、今後一斉に更新時期を迎えるため、公共施設の効率的な配置や有効活用の検討が必要と感じました。

本年度、町が進める公共施設等の総合管理計画の策定に当たっては、将来人口の見通しや町の将来ビジョンを見据えて、町と町民が一体となって計画策定を進めてください。



県との情報交換会の様子（プラトール）